

## れんこん



# 主な加害種:カモ類(マガモ、カルガモ)、ハクチョウ 類、オオバン

れんこんはハスの地下茎の肥大した可食部位で、泥中に着生する。鳥類では、泥中にあるれんこんを 食害することがこれまでに確認・報告されているのは、カモ類の一部の種(マガモ、カルガモ)、ハクチョ ウ類(オオハクチョウ、コハクチョウ、コブハクチョウ)、オオバン。なお、水面や地上にあるれんこん(収 穫残さ)は、これらの種に加えて他のカモ類(オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ)なども食べる。



【詳しくはこちらもご覧ください】

れんこんへの「カモ被害」把握のための食痕識別標準作業手順書 (2025年10月15日公開)

れんこん産地で得られた様々な食痕の実例写真を 多数収録し、病虫害等による傷との違いや、どの鳥 による食害と考えられるかを解説しています。



https://sop.naro.go.jp/document/detail/194

農研機構の標準作業手順書(SOP)公開仕様が変更され、サンプル版のみが公開されています。 リンク先から利用者登録をしていただくと、本編を無料で閲覧・ダウンロードできます。



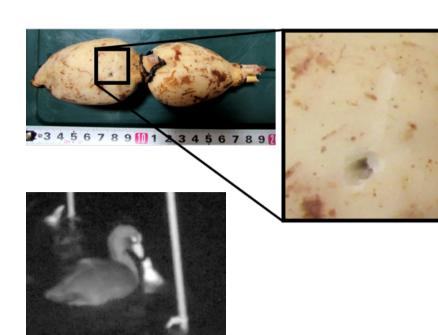
加害種:カモ類(マガモ、カルガ モ) やオオバン

農家の収穫に立ち会って回収したも の。外からの力が加わったことによる 傷や欠損が見られ、黒紫に変色して いた。なお、病害等の傷であれば内 側からの腐敗や凹み、表面の斑点が 特徴であるため区別できる。

撮影: 益子 (出典: 益子ら(2023) 日本 応用動物行動学会誌 67(1):1-13)







### 加害種:オオバン

ハス田の水面に一時的にれん こんを浮かべ、夜間カメラ撮影 して、オオバンが繰り返しつい ばんで食べていたことを確認し た。れんこんの表面には、オオ バンが尖った嘴でついばんだ ことによる突き刺し傷(拡大部 分)が複数見られた。

撮影: 益子(出典: 益子ら (2023)日本応用動物行動学会 誌 67(1):1-13)

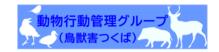


### 加害種:オオバン

ハス田の水面に一時的にれん こんを浮かべ、夜間カメラ撮影 して、オオバンが繰り返しつい ばんで採食していたことを確認 した。れんこんは深くえぐられ、 断面にはV字状の細かな切れ 込みが不規則に連続していた。

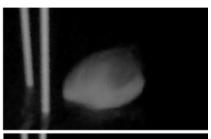
撮影: 益子





### 鳥獣害痕跡図鑑







加害種:オオバン

ハス田の泥中に一時的にれんこんを設置し、夜間カメラ 撮影して、オオバンが頭を水中に浸したり、繰り返し逆立 したりして採食していたことを確認した。れんこんは舟型 に大きくえぐられ、断面は比較的滑らかな凹凸になってい た。このような形状は、扁平な嘴を持つカモ類やハクチョ ウ類による食痕との区別が難しい。

撮影: 益子 (出典: 益子ら(2023)日本応用動物行動学会誌 67(1):1-13)

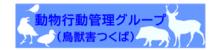




加害種:マガモ及びオオバン

ハス田の泥中に一時的にれんこんを設置し、夜間カメラ撮影して、マガモとオオバンが繰り返し頭を水面下に浸して採食していたことを確認した。断面は V 字状の細かな切れ込みが連続した部分と、比較的滑らかな凹凸の部分が混在していた。

撮影: 益子 (出典: 益子ら(2023)日本応用動物行動学会誌 67(1):1-13)



### 鳥獸害痕跡図鑑



加害種:マガモ

マガモが脚で泥を掘る様子。巻き上げられた泥が広がっていくのがわかる。マガモは水面下浅い位置にあるれんこんから食べ進んでいくが、次第に深くなって食べにくくなると、脚で泥を掘る動作もするようになる。ハス田の泥中に一時的にれんこんを設置し、夜間カメラ撮影したもの。

撮影: 益子 (出典: 益子ら(2022)日本鳥学会誌 71(2):153-169)

動画は https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/wildlife/video j.html で見ることができます。



加害種:カモ類(マガモ、カルガモ)やオオバン

収穫前のハス田の泥面に見られたすり鉢状の 凹み(矢印)。マガモ等が泥を掘りながられんこ んを食べたことで形成されたと考えられる。

撮影: 益子 (出典: 益子ら(2022)日本鳥学会誌71(2):153-169)

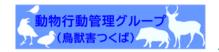


加害種:カモ類(マガモ、カルガモ)やオオバン

収穫前のハス田の泥面に見られたすり鉢状の 凹み(矢印)。水を張った時期にマガモ等が泥を 掘りながられんこんを食べたことで凹みができ、 その後に水位が下がって、凹みに水が溜まった 状態と考えられる。

撮影: 益子 (出典: 益子ら(2022) 日本鳥学会誌 71(2):153-169)





## 鳥獣害痕跡図鑑





公園の池の観賞用のハス。繰り返し逆立ちしたり(上の写真)、脚で泥を掘ったりしている様子(下の写真)。泥中のれんこんを食べようとしていると考えられる。

撮影:益子



